

保 育園の頃から消防士を志していたという入庁13年目の田村俊樹さん。幼い頃からの夢を叶え、さらには救急救命士の資格を取得。「現場へ出勤し、命を救えず悔しい思いをすることがあります。ある日、悔しい思いが溢れ出てきました。「現場で人を救える力が欲しい。」ただただの思いで救急救命士を目指しました。」そんな田村さんの日課はランニング。自身の体を鍛えることにより、24時間いつでも出勤できる体力を培っています。田村さんもまた、休日は趣味の読書や旅行でリフレッシュしています。消防士を夢見た幼い頃からの愛読書は、サン・テグジュペリの小説『星の王子さま』。この物語では、王子さまは一輪のバラと出会います。そのバラを美しいと思い大切にしていま

したが、ある日バラの花と喧嘩をしてしまいました。それをきっかけに王子さまは、ほかの星の世界も見てみたいと思ひ旅に出ます。旅の中で出会ったキツネの言葉「ものごとは心で見てくなくてはよく見えない。一番大切なことは目に見えない。王子さまは一つのバラに振り回されていましたが、そのバラこそが王子さまにとって最もかけがえのないものだったことに気付かされるのです。目には見えてもそこに「絆」や「愛情」があり、そこに費やした「時間」がありました。最初からそのバラが特別だったから時間を費やしたのではなく、時間を費やしたからこそ特別なものになったのです。「この物語は自分にとって、人間関係や仕事への誇り、趣味等・・・全てのことに当てはまると思い、何度も読み

生命を繋ぐ
今回のクローズアップでは、救急の現場と救急救命士を特集。通報者から救急隊、そして病院へと命のバトンを繋ぎ、ひとりでも多くの命を救おうとする姿が見られました。救急隊員が昼夜万全の体制を整えている、救急車の不正利用や残念な現状があります。救急隊員だけでなく、私たちができることは何でしょうか。日頃から正しい知識を身に付け、ある日突然身近な大切な人に異変が起きたときも、冷静な判断の上、行動することではないでしょうか。



Emergency

大切な人を救うためにあなたも受けませんか？

普通救命講習

時 10/20(日) 9:00～12:00

所 消防本部

対 市内在住、通勤・通学の方

定 25人(先着順)

申 右記2次元コードよりご確認ください

問 救急係 ☎ 25-5054

ID 0011767

9/1日から
申込開始

四 年前の夏、それは突然のことでした。「お父さんが返事をしない。息をしない。もう冷たくなっている」と電話口で泣き喚く母、横で寝ていたのはその父が、目を覚まらなかったのです。心筋梗塞でした。「救急車は呼んだ？」「うん、番はした？」と確認しましたが、「息子に連絡はしたけど、呼んでいない。どうしていいかわからない。」と泣くばかりでした。眠る直前まで隣で会話をしていた大切な人が、返事もせず、息もしていない状況に冷静な判断や対処ができてしまうのか。取り乱してしまい、なかなか冷静に対応できないことを目の当たりにしました。今回の特集では、一分一秒を争う救急の現場と救急救命士にクローズアップ。大切な人の生命を救うために、私たちにできることは・・・

市 消防本部における令和5年の救急出動件数は3,875件。過去最高を記録しています。平均10.6件/日、10年前の平成26年は8.6件/日、5年前の令和元年は9.1件/日と比較すると、この5年で急速に救急出動件数が増加しています。さらに令和6年上半年(一月～六月)の救急出動件数は過去最高を記録した昨年の上半期の出動件数1,755件を大きく上回る1,905件となっており、今後も救急出動件数の増加が見込まれています。現在、救急要請が発生した際、救急隊3隊が順番に出勤をしています。救急出動件数が急激に増加している昨今、この3隊が全て出払ってしまうということも少なくありません。そのような中で救

自 分で病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷ったら「すぐに119番通報してください」と言いたいところですが、近年、救急車の不適切利用が社会問題となっています。前述しましたが、救急出動の約4割以上が入院を必要としない「軽症」の事案です。「救急車で駆け早く診てもらえる」「病院に行く交通手段がない」「タクシーはお金がかかる」などといった緊急性や重症感のない救急要請が多発しています。このような利用が増えると、生命の危険にある人を救えない可能性があります。あなたやあなたの身近な方が一刻を争うとき、いち早く救急隊が駆けつけることができるよう、病院へ自分で行くか、救急車を呼ぶかどうか判断に迷ったときは「#7119(救急相談センター)へまずはお電話ください。また、お子さんが夜間急に具合が悪くなったとき、すぐに受診すべし、翌朝まで待つてもよいのか判断に迷ったときは「#8000小児救急医療相談電話(こどもの救急電話相談)へご相談ください。

いのち 行橋の生命を繋ぐ者たち

—救命救急24時—



救急隊員と救急救命士は何が違う？

救急救命士は国家資格であり、一般の救急隊員も傷病者の救急処置を行うことができますが、救急救命士はそれよりさらに高度な処置を行うことが可能です。具体的には、医師の指示のもとで気管挿管や静脈路確保(点滴)、薬剤(アドレナリンやブドウ糖)の投与といった特定行為と呼ばれる救急救命処置を施す権限が与えられています。

入 庁24年目の出口綾人さん。救急救命士を目指したきっかけについて、「自分が知識を深め、より高度な処置を行うことができるようになることで、救える命がひとつでも増えてほしい。さらには、大切な家族や友人が倒れたとき、救える人間になりたいと考えたからです。」とお話しました。日々命と向き合う緊迫した状況下での仕事、プライベートでも医療の専門書を読み研鑽に励んでいるそう。また、尾田栄一郎さんの漫画「ONE PIECE」を読むことが息抜きになっていると言います。トナカイの姿をしたチョッパーと医者であるDr.くれはの印象的なシーンがあります。人一倍優しい性格のチョッパーに対し、彼女はこう言います。「優しいだけじゃ人は救えないんだ！人の命を救いたきゃ、それなりの知識と医術を身に付けな！」「腕がなけりゃ誰一人救えないんだよ！...」自身が救急救命士を目指した動機と重なる部分があり、このシーンは何度も見返しているそうです。

